



まは しん すち

便ユ

りー

Vol.7



阪奈フェスタ・スポーツと文化のフェスティバルに参加 楽しいイベントが盛りだくさん！

関連施設で行われたイベント、「阪奈フェスタ」に看護部も参加しました。今回は、ゼロフィットの理学療法士と協働でイベントを盛り上げました。バランスボールやスラックラインは子どもたちに大人気、体組成計体験は日ごろから健康に関心のある方に多く参加していただき、終了時間まで途切れることがありませんでした。恐竜の着ぐるみも会場を盛り上げましたが、子どもたちに戦いを挑まれてしまい降参してしまいました。また、生駒東小学校で行われた「スポーツと文化のフェスティバル」にも参加しました。「まちのほけんしつ」としてちびっこ白衣体験、紙コップで聴診器を作ろう、看護師のお仕事はどんな事？の体験を実施し、子どもたちは白衣を着て聴診器片手に救急車に乗って写真撮影するなど、ちびっこナース・ちびっこドクターになりきって楽しんでいました。

中学生職場体験学習



中学生3名が、職場体験学習に2日間来ました。各部署で医療に携わる方の仕事を体験し、とても楽しそうに学習していました。将来は看護師になりたいという思いがより高まったようでした。



ナースエイドからのお知らせ

1月からナースエイドを主人公としたドラマが始まりますね。当院は「看護補助者」と呼んでいるものが、ナースエイドのことを指します。ナースエイドは、看護師のお手伝いしてくれて、患者さま、ご家族にとってとても身近な存在です。看護師を目指す者、介護福祉士資格を取る者など、頑張っています。ドラマも楽しみです。ドラマをきっかけに仲間が増えればうれしいです。

中学生 人権キャリア教育 仕事を語る

中学生を対象に「ようこそ先輩、仕事を語る」という人権キャリア教育の講師を務めました。講師は、今年入職の看護師2名とベテランの看護師長です。スライドを用いて看護師の仕事や聴診器の使い方などを聞いてみる、血圧を測ってみるなどのさまざまな体験を計画してくれました。中学生たちはとても興味を持ってくれたようでした。



看護を語る会を開催しました

ラダーⅢ・Ⅳの研修で、看護を語る会を行いました。自分の行っている看護を概念化する機会はありませんか？と思います。あらためて、今までの看護体験を語りあうことで「看護のやりがい」を感じ看護に向き合える時間となりました。時代が変わっても変えてはならない「良質な看護」を作り上げることができるようしっかりと伝えていかなければ、と思いました。

看護部情報！

発行人
看護部長室

看護部長のひとりごと

今回の研修で「看護を語る会」を行い看護体験を概念化しました。看護の概念化とは、過去の経験の中から1番記憶に残っている看護場面を思い出し内省しながら、記憶の中の看護の気がかりについて考え、全体像にしていく過程です。看護管理者がマネジメントする対象の多くは「人」です。患者さま、スタッフなどです。学んできた管理の知識だけでは対応ができません。経験を重ね、自分の固定観念に気づき客観視できるまで内省しなければ「人」を守れないと思います。今度、経験した看護管理を概念化し、管理者がマネジメントリフレクションを行える時間を作ろうと思いました。

12月のお知らせ

病院説明会に出向きます

2025年度に入職する予定の学生さん対象に病院説明会に出向きます。また、体験や見学会も実施しています。

季刊誌：外来看護2024年2月発刊予定
救急救命士と看護部の協働を執筆
する内容が掲載されます

部署の自慢
今回は、3C 病棟

1 明るく活気がある

2 なんだかんだで
ガッツがある

3 患者さまが元気に
なっていく喜びがある